



国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

2009-2010 Governor's Monthly Letter



にかほ市金浦南部漁協

2009-2010年度 ガバナー

村上 勘一

Kanichi Murakami



ロータリーの未来は
あなたの手に

2009-2010年度 国際ロータリーテーマ

ガバナー事務所

〒015-0874

秋田県由利本荘市給人町7-3 本荘合同ビル3-1

TEL 0184-74-3071 FAX 0184-74-3072

E-mail: higashi.2540@water.ocn.ne.jp

Office: 3-1 Honjo-Godo Building

7-3 kyujin-cho, Yurihonjo-city Akita

015-0874 JAPAN

TEL 0184-74-3071 FAX 0184-74-3072

E-mail: higashi.2540@water.ocn.ne.jp



新年のご挨拶と、 公式訪問を終えて

国際ロータリー・第2540地区

ガバナー 村上 勘 一

平成22年の新春を迎えるに当たりまして、ロータリアン皆様方のご健勝を心からお慶び申し上げます。

一昨年に発覚したアメリカのバブル崩壊とも云える9月15日のリーマンショックに続いて、昨年はサンディエゴでの国際協議会開催中に就任式が開催されたアフリカ系、オバマ・アメリカ大統領の誕生や、夏の衆議院選挙においては国民の大多数が戦後の日本政局を長期にわたり実質的に担って来た自民党政権を避けて「物から人間へ」のマニフェスト・スローガンを掲げた民主党中心の連立政権選択へと画期的な本格的政権交代で、閉塞感溢れる世相から脱皮し新たな行政改革へ期待する「わずかな希望」がもたらされた反面、秋口から中東発ドバイショックとデフレの伴う価格破壊風邪が蔓延し「低空経済飛行」で閉じました。私は今年の1月に生まれて初めてアメリカ本土の土を踏みアメリカの巨大さに驚嘆しつつ、温暖低湿なりゾート地・サンディエゴに於ける「国際協議会」での一週間にわたる楽しくも緊張の日々を改めて走馬灯の様に振り返って居るところで御座います。国際協議会から開放され1月28日(水)に秋田空港へ到着し、ヤレヤレと思いつつ自家用車へ近づきましたら、豪雪の名残で「かまくら」の中に車が入って居る状態にて、その除雪に一苦勞致しましたのも、昨日の出来事の様な気が致します…。

地区ガバナー事務所のスタッフやロータリアン皆様方のお陰をもちまして、任期中最大のイベントで在る「地区年次大会」もジョン・ケニー R I 会長代理には国際協議会出席の折に私が逆指名させて派遣頂いた、安平和彦先生、令夫人佐千代様ご夫妻をお迎えして盛大に意義深く終えることが叶い安堵して居ります。また、12月2日(水)最後の訪問先、角館 RC の公式訪問をもって、地区内42 RC の公式訪問を無事に終える事が出来ました。同行訪問して頂いた12名のガバナー補佐の皆さん、各 RC の会長・幹事さん、ロータリアン皆様方の温かい歓迎と御見送りの下で地区ガバナーとしての役務を全う出来ました事に感謝し心から御礼を申し上げます。

私は地区内の各 RC 公式訪問を終えて、伊藤直前 DG の所属する湯沢 RC と京野 PDG 所属する湯沢南 RC 公式訪問の様子のみを抜粋して記載させて頂きませんが、地区内の RC には素晴らしいメンバーが居られると云う事に、目の覚めるような思いで拝見させて頂きながら、ケニー R I 会長の考えを披露し、また R I の現況についてと合わせて約45分間程の講話をさせて頂きました。

それを通してロータリーというものは捨てたものじゃ無いんだ、素晴らしい存在なのだと云う事を再認識し立ち上がって頂きたい事を念じて講話を続けて参りました。今まで日本が得てきた金銭的な「富」の量は他国との相対的状況から考えて、今日のようにグローバル化した世界経済の現況と能力から鑑みると縮小気味に推移する事は避けられないと思われまます。

しかしながら諸外国に於いての「日本人と made in Japan 製品」に対する評価は絶対的に高い位置に御座います。

ガバナー・ノミニーの選任にあたっては日本の地区ガバナーが「保証すると云う会員ならば」信頼しようとケニー R I 会長が承諾して下さるほどに、我々は世界の Hi レベルの方からも、その様に信頼されて居る事を忘れてはいけません。

今まではどちらかと言えば外国へ向けて居た関心を、世界に良い影響を与えてきたわが国のトップレベルの生活環境、社会インフラやサービスの便利さ、正確さ、丁寧さ、清潔さ、日本の内に在った素晴らしい文化の再発見と自覚、もう日本はこれだけ素晴らしい国に成ったのだから、世界に求めるのではなくて、地域や自分の中に在る素晴らしい魅力、素晴らしい文化、素晴らしい誇り、そしてこの日本人の素晴らしさを見直して「グローバル市民」を目指すべきで有り、我々は地下に隠れた、内に隠れた宝というものを発見しようではないか、と云う事で御座います。

今この様な大変な状況の中で、誰が第一線の前線に立って指導して行かないといけないのか、それは各 RC における長老の方で在り、人生の大ベテランで有る方々で有ります!!



今日の日本へ対する高い評価の根底を成した者は? 長老の方々の今までの「生き様」が国際的に賛同と共感を呼び、信頼の「源流」と成って居る事実から鑑み、後期高齢者などと腰を引く事無しに、辛い苦しい体験を沢山体験し、甘いも酸いもかぎ分け、地獄を知った人達、「老成」と呼ばれるにふさわしい素晴らしい方達が、これからの我々にロータリーの警鐘を鳴らして質の高いつながりや価値の在る自らの体験や情報を提供して「若者にカツを入れて頂きたい、パワーを与えて頂きたい」とお願いをする次第で在ります。

人生は自己との戦いであり、不正との戦いであり、偽りと無慈悲との戦いでも在る事をロータリーの中で教えて欲しいのです。ロータリアンは普通の人々では在りません、人々の上に立つ者、指導者たるべき者は、人々の夢と人々の想いに敏感でなければ成らないと思う訳で御座います。決して鈍感で在ってはなりません。人は夢と憧れが無ければ生きてはいけません、日本は素晴らしい国なのだから必ず出来る、夢と憧れが在ればこそ現実がいかに苦しくとも、辛くとも、歯を食いしばって頑張る行けるので有ります。夢の中に自分を置き! 最後まで自分を見失う事無く! 自分を見捨てる事無く! 憧れを持って生きて行こうでは有りませんか!

ロータリアンよ、貴方達はロータリー社会から派遣されて居る「戦士」なので在ります。

この世は浮世です、元東大総長の佐々木 毅先生の講話でも示唆されましたが、死んでもまた何度も生き返らなければ成りません、

不屈の心とも相通じますが、浮いたら沈み、沈んだら必ず浮いてくる。人々に夢と憧れを与えられる人間に成ろうでは有りませんか。それがロータリアンのこれからの道で在ると信じます。

「新しき年の初めの初春の 今日降る雪の いや頻け吉事」

「石走る垂水の上のさわらびの 萌え出づる春になりけるかも」

吉霊 (ことだま) = お正月には改まって望みを話すと、間もなく託したその望みが叶って現実と成り帰って来るの意の古語。万葉集より抜粋

☆公式訪問日誌

7月23日(木)、湯沢RC例会訪問

今日は、私のロータリー人生にとって節目とも成る、生涯で初めてのガバナー公式訪問先として、伊藤直前DGに敬意を表し所属クラブで有る、湯沢ロータリークラブさんを選定し訪問させて頂きました。

湯沢RCさんには、伊藤直前DG様からの配慮で、GE受諾後より、湯沢市に於ける「地区委員会」開催時にはオブザーバーとして度々案内を受け、委員会開催の前には湯沢RC例会へ何度かメイクアップさせて頂き、湯沢グランドホテル隣のガバナー事務所二階の会議室内での委員会等でも顔見知りが多いのですが、それでも当日は緊張感を拭えませんでした。

木内地区幹事・佐藤良壽地区副幹事と共に、15:20頃に現ガバナー事務所を出発して湯沢市の例会場「割烹・石川」に16:20頃には到着致しました。会場には伊藤直前ガバナー・高橋直前地区第一幹事・小田原直前地区財務委員長・大沼直前会計長兼南区ガバナー補佐・瀬川会長・近江幹事の皆さんが既に会場で待って居られました。

17:00からの会長・幹事面談の前に、瀬川会長・近江幹事様を除いての、地区財務引継ぎ状況の説明が有りまして「地区予算計上時から現在までの会員減少で即収入減につながった事、更にはお二人のPDGの逝去に伴う秋田魁新聞への訃報広告等にも想定外の経費が出費されましたが、反面に支出は予算通りに各委員会に配分され執行される為に、地区繰越資金に手をつけなければ成らない理由を説明されました。」私も昨今の地区経済状況は、30年にわたる事業経営の経験上からも最悪の状況で有り、だからと言って予算節約を優先し過ぎるあまりの緊縮活動では、最悪時はロータリーの更なる衰退につながりますので、やむを得ない事象で有ると感じ入りました。昨年の7月1日に東京で行われた「ガバナー会」の席上で、伊藤直前ガバナーが、岩手・宮城内陸地震での惨状を訴え、全国のロータリアンに支援をお願いし、全国のロータリアンからの寄付金¥40,000,000円程の半額を当地区に贈呈された手前も有り、伊藤直前ガバナーが、国内での地区大会に「御礼行脚」を兼ねて出席した為に、例年よりも地区大会出席に関わる経費が掛かり増しに成ってしまった事を、伊藤直前ガバナーより以前伺った記憶が御座います。

17:00からは別室で、大沼ガバナー補佐と共に、瀬川会長・近江幹事さんとの面談を行いました。湯沢RCさんは地区内でも、率先垂範のモデルクラブみたいなRCで有りますので、引き続き地区全体を引っ張って行くつもりで「範」を示す活動を積極的に進めて頂く様に激励して17:40分頃には終える事が出来ました。本通りに各委員長からの活動計画の報告をして頂き「講評」も定例通りに終えました。と私に報告して下さい



れましたので、ガバナー補佐本来の役務を全うして下されて居る事に、まずは一安心して居る次第で御座います。

夕刻18:00より全クラブ会員より集合頂き、恒例セレモニーの後に35分間程の「公式訪問講話」をさせて頂きました。今日のプログラムは、有り難い事に、公式訪問の際に、ガバナーを囲んでの「夕涼み会と歓迎会」をやりたいので、それへ合わせて訪問して下さいとの予告を、瀬川会長さんより頂いて居り、講話を終えてから全員で「公式訪問・記念写真」を撮り終えた後、歓迎会を開催して頂きました。湯沢RCさんは会員数49名の大会所帯、「盛大」な宴席で有り、アトラクションはバックに常夏の国ハワイの絵柄タペストリーを飾っての、夕涼み会にふさわしい、6名の湯沢美人(会員のご家族が2名居られるとの事でした。)によるムード溢れるフラダンス・ショーで彩を添えて下された次第で御座います。

7月28日(火)、湯沢南RC例会訪問

今日は通常例会への訪問で有りますので、9時半に象潟の我が社を出る。湯沢ロイヤルホテルには10時45分頃に到着致しましたが、駐車場で湯沢南RC会員の方と出会いホテル内の2階の会長幹事会会場と成って居る部屋へ行く途中で、市内高校生多数と出会ったので、今日は高校生の「テーブル・マナー」の席でも有るんですかと伺いましたら、いや「受験勉強の為のセミナー」が大会議室で開催されて居るのだよと伺い、今日は外も暑いので冷房の効いているホテルでのセミナーとは、いやはや最近の高校生は恵まれて居りますネ等と冗談を交わして「和室」に入りましたら、早速、皆川博会長さんと佐藤重幸幹事さんが、既に着座して待機して居られました。間も無く大沼G補佐も参りましたので、11時の定刻と成り、会議というよりは「懇談会」を進める。3回目の会長を引き受けた、皆川博会長とは、作左部PGの二度目の際に、一緒にG補佐を組んだチームメイトで気心が知れて居り、ザックバランに湯沢南RCの歴史と現況(5年前会員数25名→現在14名)についての報告を受けて、私なりに今まで見聞きした活動や湯沢南RCの強みを生かした強化策と、新会員増強の前に「魅力在る例会創りや、家族参加のレクリエーション」の実践や、外での奉仕活動を行う際は「ロータリーマークの入って入るブルゾン」等を着用して、地域住民からも「ロータリアンの行動・実践」を注目して頂く等の広宣行為により、それなら私も入ろうかなと思う有志も出て来るのではと思います。

洋室で開催された例会では、京野PDGも出席成されましたが、社員の家族の葬儀が当館内で13時より行われるので、それへ参列の為に会食の後に中座致しますので宜しくと挨拶されて、内心ホッと(もしかして、私が緊張するかと気を遣い中座したのかも知れません)。会員数14名全員出席の予定でしたが、急に1名欠席と成ったとの情報を皆川博会長より承る。奉仕の理想・斉唱→四つテストの唱和→ビジター紹介→会食→セレモニー→ガバナー講話→記念写真→ロータリーフォーラムを終えて、14時15分頃にはホテルよりお見送りして頂き帰路につく。



由利6RC合同ガバナー公式訪問例会
(H21年11月25日)



大曲仙北ロータリークラブ
(平成21年11月9日)



ニッ井ロータリークラブ 創立45周年記念 ささやかに祝う

ニッ井ロータリークラブ（安井英章会長）の創立45周年記念式典及び祝賀会が去る11月28日（土）ニッ井公民館式場において遂行されました。

ハーフ周年という事で、北区クラブを主体にご案内申し上げて式典及び祝賀会を出来る限り儉約を旨とし、進めさせて頂きました。

地区からのご来賓としては、村上ガバナー・令夫人キミ子様・地葉ガバナーエレクト・田口パストガバナー・北区ガバナー補佐4名の皆様、地域より齊藤滋宣能代 市長初め、職業奉仕賞授彰者森田千佳世様他数名北地区16クラブ会員及びホストクラブ参加者含め総勢 68名のきわめて、こじんまりとした式典でありました。

初めに安井会長の挨拶には「先人達の築き上げて来て下さった45年の実績を直視しながらも、この厳しい現状を打破して変革して行く事が、やがて50周年へと通じる道である。」と力強く述べておられました。

武田実行委員長の歓迎の挨拶、続いて村上ガバナーの祝辞に「少人数クラブながら良く努力しており、さらなる50周年を目差して頂ければ。」と激励のお言葉を頂き、能代齊藤市長は「市のあらゆる分野に於いて、ロータリークラブ会員の皆様には、常にリーダー的存在で活躍して頂いており、頼もしくもあり、感謝致しております。」との祝辞を頂きました。

その後、45周年記念事業の目録の授与「新ニッ井小学校への図書への寄贈」。職業奉仕賞として森田千佳世さんへ感謝状と記念品を授与ユーモアを込めた返礼を頂き、滞りなく式典を終了することができました。

続いての祝賀会を前に特別講和、大曲仙北ロータリークラブ境一孝氏による「原始RCとこれからのRC」と題して20分位の講和を頂きました。

その後、アトラクション「県無形文化財飛根羽立神楽」の公演あり、祝賀会へと進む。こじんまりとしながらも、親睦を深め楽しいひとときを過ごす事が出来ました事に心から感謝を申し上げて、お礼に替えさせて頂きます。





次年度米山記念奨学会 合同セミナーに参加して

土 田 博 美

次年度、米山記念奨学の委員長となりました秋田北ロータリークラブの土田です。米山奨学委員会の委員を1年、また留学生のカウンセラーを一度経験しているだけで、ほとんど米山記念奨学の知識の無い私ですが、皆様のご理解とご指導のもと、一生懸命努めさせていただきますのでよろしくお願ひします。

昨年12月1日・2日 2010-2011年度のガバナー・エレクト/次期米山奨学委員長の合同セミナーが東京で開催され、出席いたしました。従来のセミナーは1日ということでしたが、今年は2日間ということ、内容も豊富で、(財)ロータリー米山記念奨学会の皆様の意気込みが強く伝わって参りました。

第1日目は板橋理事長の挨拶で始まりました。お話の中で、学友で2人目の駐日韓国大使 權 哲賢氏(韓国)を紹介され、“米山記念奨学会中国学友会成立総会”が北京で開催され、90名近い学友が駆けつけ、最初から最後まで、すべて日本語で進められた事などを報告されました。結びとして、「米山奨学会の目的である“世界の国々と信頼関係を築く平和の架け橋となる人材を育成”の成果を実感でき、生涯忘れ得ない深い感動を味わうことができた」と、強く述べられていました。

『R I 理事の基調講演』、『米山学友の卓和』、『地区での実践の成果と課題を見いだすフォーラム』など、新人の私には米山記念奨学会の重責が肩にずっしり重い一日となりました。

第2日目は、前日のフォーラムを踏まえての分科会です。参加した分科会は、地区の半分以上の分区で奨学生に接することができないため、ロータリアンの関心が薄かったというような問題を抱え、寄付額も少なかったという北海道2500地区の事例の報告でした。その中で、世話子クラブ・ホームステイクラブなどで、多くのロータリアンに米山奨学生の関わり合いをもっていただき、事業のすばらしさを理解していただくことに徹することで、寄付額も増えたということでした。

米山奨学生の多くは、本当に良く勉学に励むすばらしいアジアの宝です。日本の厳しい経済情勢の中、特に地方で寄付額を増やす事はなかなか難しいことかと思いますが、ロータリアンの皆様に、より一層“米山記念奨学の事業”のすばらしさをお伝えできればと考えております。

權 哲賢 (クォン チョルヒョン) 氏

(韓国出身/奨学年度：1984-87年/筑波大学大学院/世話クラブ：佐野東RC)



ネパール医療活動に対するご支援について (お願い)

国際ロータリー第2540地区

ガバナー **村 上 勘 一**

世界社会奉仕委員長 **高 橋 亮 治**

本年2月6日～14日に渡り、アイキャンプが実施されます。地区といたしましては、アイキャンプに対しましてネパールの政情不安やその他の理由により地区事業としては取り上げず、伊藤年度と同様、各クラブ・個人に募金をお願いすると共に、側面支援を致す予定であります。

つきましては、各クラブとも財政厳しき折、大変な事と思いますが、是非ご賛同の上、募金にご協力して下さいますようお願い致します。

2010年ネパール医療支援・調査団代表

駒 橋 典 夫

秋田ロータリークラブ

宮 下 正 弘

(秋田赤十字病院院長)

国際ロータリー第2540地区（以下「当地区」という。）は、1974年から世界社会奉仕活動の一環としてネパール支援を行ってきましたが、当初は食糧増産支援活動に伴う農業技術指導及び農業研修生の受け入れや、現地モデル農場事業建設等を企画実施してまいりました。

また、1983年からは保健医療並びに公衆衛生向上のための支援の一環として、医師、看護婦などの医療従事者を受け入れており、今日まで31名の看護師等に対して、集中治療室、手術棟及び病棟看護管理の指導等を実施しております。

このような背景の中で、2002年からは、失明回避プログラムの一環として、ネパール国立眼科病院の医師や現地保健診療所及び地元婦人会等と共同でアイキャンプや白内障手術を実施するなど、時代の要請に応えたネパールの医療・公衆衛生環境向上の支援を行って来ております。

このアイキャンプの実績（02～09年度）は、受検者総数1,686名、白内障手術患者数51名に上り、実施地域の住民から当地区に対する感謝と信頼が深まっているものであります。

これらの支援事業につきましては、看護師研修事業は地区事業として、またアイキャンプは地区事業ではありませんが、各ロータリークラブからのご支援と合わせて当地区からの協賛をいただいているところであり、昨年度は各ロータリークラブから90万円に近いご支援を賜りました。まことにありがたいことであります。

つきましては、今年度におきましても次の募金要綱により活動を実施することとしておりますので、前回同様に多くのクラブからご賛同とご支援をいただくことができればとお願い申し上げます。

何卒、今まで継続されてきたネパールに対する医療支援事業をご理解いただき、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



募 金 要 綱

- 1 募金目標金額 1,500,000円
 支援事業調整員派遣費（1名） 250,000円
 現地派遣支援費（渡航費のみ；3名分） 450,000円
 現地医療保健活動・視察費 300,000円
 アイキャンプ・手術費 280,000円
 研修生との交流会費 80,000円
 共通費（航空税、査証代等） 140,000円
- 2 活動日程表 2010年2月6日（土）～14日（日）
 前年度と同様の活動内容を予定しております。
 <2/8；アイキャンプ、2/9・10看護研修生病院視察、
 2/11；研修生交流会・看護研修生選考会、2/12；白内障手術等>
 ◎アイキャンプ会場（予定）「Goldhunga Health Post」
 （カトマンズ市郊外）
- 3 募金振込先 秋田銀行秋田東中央支店（店番147）
 口座 普通口座 1 3 2 3 0 8
 名義 ネパール医療支援プロジェクト 代表 宮下正弘
- 4 本件に関するご回答 2月3日（水）まで
 下記宛FAXでご連絡願います。
 秋田ロータリークラブ内 ネパール医療支援担当 宮下正弘
 （FAX018-866-3747）

訃 報 の お 知 ら せ

謹んでご冥福をお祈りいたします



わた べ よし たね
渡 部 美 種 2009年11月9日ご逝去
 （秋田ロータリークラブ元会員）享年89歳

1986年3月 入 会
 1992～1993年度 会 長
 1995～1996年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー
 その後パストガバナーとしてご活躍いただきました。
 ポールハリスフェロー、米山功労者
 1999年10月31日 東京移転のため退会

1 月

ロータリー理解推進月間
 追悼記念週間（1月27日を含む1週間）



ガバナー事務局だより

第2540地区 2009年11月の会員数及び出席率報告

区分	クラブ	会員数					出席率%	区分	クラブ	会員数					出席率%
		今期 増強 目標	7月1日	11月末日	11月 増減					今期 増強 目標	7月1日	11月末日	11月 増減		
大館・鹿角	大館	2	34(0)	34(0)	0	61.77	由利本荘・本荘	本荘	1	32(0)	32(0)	0	77.68		
	花輪	2	22(2)	23(2)	0	89.86		矢島	1	5(0)	7(0)	0	66.63		
	鷹巣	1	11(0)	11(0)	0	88.60		仁賀保	2	11(0)	11(0)	0	100.00		
	大館北	1	21(1)	22(1)	0	72.74		象潟	2	11(0)	11(0)	0	74.97		
	十和田秋田	4	10(0)	14(0)	4	91.07		本荘東	2	21(0)	23(0)	0	83.70		
	大館南	2	23(0)	23(0)	0	86.96		本荘南	2	8(0)	8(0)	0	100.00		
	大館中央	1	27(4)	27(4)	0	92.58		小計	10	88(0)	92(0)	0	83.83		
	小計	13	148(7)	154(7)	4	83.37		大曲	2	39(1)	40(1)	0	85.95		
	能代・男鹿	能代	3	56(4)	61(4)	0		61.89	角館	3	18(0)	19(0)	0	86.65	
		能代南	2	21(1)	20(1)	-1		90.00	大曲南		11(2)	11(2)	0	100.00	
男鹿		2	17(3)	19(3)	0	84.21	大曲中央	1	7(4)	7(4)	0	100.00			
二ツ井		3	9(0)	9(0)	0	74.99	田沢湖	2	18(2)	19(2)	0	73.68			
五城目		2	16(0)	16(0)	0	67.00	大曲仙北	5	10(3)	12(3)	0	75.00			
潟上		2	22(0)	22(0)	0	89.39	小計	13	103(12)	108(12)	0	86.88			
男鹿北		3	18(0)	18(0)	0	77.78	湯沢	3	49(0)	50(0)	0	86.21			
山本		2	17(1)	17(1)	0	86.76	横手	2	39(1)	41(1)	0	76.70			
能代白神		3	18(7)	16(7)	-1	86.20	横手南	2	59(1)	63(1)	0	98.37			
小計		22	194(16)	198(16)	-2	79.80	西馬音内	3	17(0)	17(0)	0	58.90			
秋田	秋田	3	70(0)	77(0)	1	87.59	湯沢南	2	14(0)	14(0)	0	75.00			
	秋田東	3	54(0)	58(0)	1	100.00	稲川	3	7(1)	7(1)	0	80.00			
	秋田港	2	39(4)	39(3)	-1	87.50	横手東	1	21(1)	22(2)	0	71.59			
	秋田北	2	37(3)	41(3)	0	100.00	小計	16	206(4)	214(5)	0	78.11			
	秋田南	2	35(2)	35(2)	0	83.57	地区合計	89	1,019(49)	1,063(50)	4	83.30			
	秋田中央	1	30(1)	32(2)	1	79.98	クラブ数：42 R C 地区平均出席率：83.30%								
	秋田西	2	15(0)	15(0)	0	76.19	地区会員数：1,063人 男性：1,013人 女性：50人								
	小計	15	280(10)	297(10)	2	87.83	※ () 内は女性会員								

1月のロータリーレート

90円です。

文庫通信 (267号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します

ロータリー文庫 2008～2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普 通 預 金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定 額 預 金	0	負 債 合 計	199,364
現 預 金 合 計	8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	23,296,150	委 員 会 費	1,398,642
雑 収 入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃 貸 管 理 費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当 期 合 計	23,431,287	当 期 合 計	27,941,340
前 期 繰 越 収 支 差 額	12,963,669	当 期 収 支 差 額	4,510,053
収 入 合 計	36,394,956	次 期 繰 越 収 支 差 額	8,453,616

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日